



苦しむ人の力になりたい
命・暮らし・住環境を守る

日本共産党 前区議・区議予定候補

さとう けい いち

佐藤佳一

再び区政で働かせてください

佐藤佳一 検索

お困りごとの相談・ご要望は
090-2641-8431 まで

日本共産党・佐藤佳一さんの活動を紹介します。

TikTok



ホームページ



ツイッター



明るい新宿

2023年春号外
発行●明るい新宿社 新宿区北新宿1-30-26 篠崎修之



この4年、区民に寄り添い頑張ってきた佐藤佳一さん



佐藤佳一さんはこの4年間、区民の皆さんの役に立とうと地道に頑張ってきました。長引くコロナ禍で、本当に大変になった地域の皆さんのくらしや業者の皆さんに寄り添い、一緒に申請したり、困難でも何とか切り開こうと区や都とも交渉してきました。区民にとってなくてはならない日本共産党の佐藤佳一さんをもう一度区政へ送って下さい!

都議会議員 大山とも子

急な立ち退きを相談。気さくで優しい佐藤さん

西新宿のアパートで急な立ち退きを迫られた時に、佐藤さんに相談しました。弁護士さんを紹介してくれて、立ち退き料が倍になりました。佐藤さんは、メガネをかけて見かけはお堅く見えますが、とても気さくで優しい方です。選んで後悔なし!

坂本ふみこ(西新宿)

親身になって即行動してくれる人

一人一人の区民に対し、これほど親身に、そしてこれほど即行動に移される方はお会いしたことがありません。このご時世、まさに『人・徳・格』が問われるところ。いま、絶対に区民に必要な方です!

日吉 司(北新宿3丁目)

■佐藤佳一の活動地域 北新宿、西新宿、歌舞伎町

佐藤佳一さんを
再び区政へ
押し上げて下さい

櫻井 正美 医師
猪狩 剛敏 ミュージシャン
篠崎 修之 元区議会議員
笠井 つや子 元区議会議員

佐藤佳一

苦境に立たされているみなさんを笑顔にしたい。
初心に帰ってトコトンがんばります。

みなさんにご支援いただき、区議を2期8年つとめさせていただきましたが、4年前、36票差で議席を失いました。頭が真っ白になり、「自らに慢心があったのではないか」と自問自答の日が続きました。

そんな私に、地域のみなさんから、お困りごとのご相談、ご要望が次々と寄せられました。コロナ関連の各種支援金、羽田新飛行ルート、道路の段差など、この4年間で千件を超えました。ひとつひとつ一緒に解決し、行政と交渉を重ねるなか、苦境に立たされたみなさんが笑顔に変わることが、何よりの励みとなりました。

より多くの区民のみなさんの力になるためには、どうしても区政の場で直接訴える必要がある。いま、そのことの重みを痛感しています。私、佐藤佳一をもう一度区政で働かせてください。トコトンがんばらせてください。よろしくお願いいたします。



コロナ事業復活支援金の相談会



毎朝の宣伝(大久保駅)

① 弱い者いじめは、やっつてはいけない

小学校の時、「たれ目」「鼻たれ」とからかわれ、いじめられました。その体験から、「弱い者いじめはやっつてはいけない」と思うようになりました。高校の時、駅前で日本共産党がロッキード事件の署名を集めていました。「国民の生活が苦しいのに、政治家が汚いことをして私腹を肥やしている」。悪政への怒り、悪政とたたかう日本共産党への共感が、政治を考えるきっかけになりました。

② 小学校の時、大雨で自宅が浸水

被災地でがんばる共産党議員に心打たれて



震災直後の石巻市で救援活動

小学校の時、三重県鈴鹿市の自宅が大雨で浸水。玄関に水が入ってきて、怖い思いをしました。大学3年の時に神田川水害の救援に参加。区議になった直後に東日本大震災で宮城県石巻市の救援活動に参加し、その時に不眠不休で献身的に活動する日本共産党の議員の姿に心打たれました。

③ 母から聞いた戦争体験、被爆者の話

核兵器廃絶へ奮闘する日本共産党に共感し入党

母は戦時中、山形の農村でB29の機銃掃射にあい、「戦争は絶対にはいけない」と話していました。大学1年の時に原水爆禁止世界大会に参加。被爆者の話を聞き、あまりの悲惨さに衝撃を受けました。戦争で犠牲になるのは、いつも弱い立場の人です。1979年、世界から核兵器をなくすためにがんばっている日本共産党に共感して、入党しました。

国民いじめの政治のもとで、苦境に立たされている人の力になりたい。そのために、トコトンがんばりたい。それが、私の原点です。

軍事費2倍化ストップ! 憲法いかし平和外交を。ウクライナに平和を!

● 感染拡大とともに始まった切実・深刻な相談

感染拡大が始まり、都が飲食店への自粛要請を打ち出した2020年4月、歌舞伎町など区内で営業しているみなさんから「休業しても十分な補償がない」「申請してから給付まで1カ月以上待たされる」など、深刻な相談が相次ぎました。

● 国に5回、都に7回、区に10回の 要請・懇談

歌舞伎町で営業しているみなさんと「新宿の灯を守る会」を結成し、コロナで苦境に立たされた事業者への支援を求めて、要請や懇談を重ねました。都知事、区長、区議会への署名も集めて提出しました。しかし、「できません」「財源は限られている」と何度も跳ね返されました。

● ねばり強い運動で、事業者の規模に 応じた感染拡大防止協力金が実現

あきらめずに運動を続けた結果、実現させたものもあります。都の協力金は、最初は一律50万円でした。しかし、店によって事業規模が違うし、新宿は家賃が高いため、家賃80万円の飲食店では家賃分の補填さえできません。くり返し要求し続け、ついに2021年4月に事業規模に応じた協力金が実現しました。

● のべ5000人の給付金、 支援金などの申請をサポート

コロナの給付金や支援金の申請は、大半がオンラインです。必要な書類も揃えなければいけません。何度も相談会をおこなって、のべ5000人の方の申請をサポートしました。

都の協力金、一時支援金、月次支援金などの申請で、私も含めて佐藤佳一さんに助けられた人たちがたくさんいます。書類が足りない時、コピー1つにしても、店の貼り紙の写真にしても、嫌な顔ひとつしないで、走り回ってくれました。心から感謝しています。

須藤あさみ(歌舞伎町、法人事業主)

持続化給付金、家賃支援金ともにオンライン申請と聞いて、パソコンやスマホを使いこなせないのが、途方に暮れていました。そんな時に佐藤佳一さんの相談会を知り、申請をサポートしていただき、10日ぐらいで両方とも振り込まれました。ありがとうございました。

近藤春夫(北新宿、運送業)



「新宿の灯を守る会」のみなさんと一緒に経済産業省に要請(2022年9月)

「の願い、直接届けたい。区政に送ってくださる」



● 低所得者、中小業者に値上げ相当の電気代助成

● 世帯5万円の国の給付金対象外の世帯所得200万円まで区独自に支給

● 高すぎる国保料均等割1人1万円の引き下げ、コロナ減免の復活

(収入がコロナ前の2019年度と比較して30%以上減少した世帯を対象に)

● 区の店舗家賃助成をテナント・店舗に直接支援する制度に改善

平穏な住環境をこわす

羽田新飛行ルート撤回へ全力

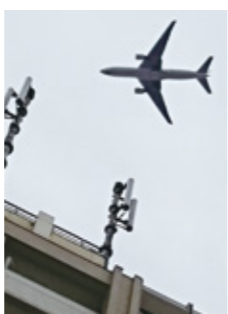
羽田新飛行ルートが開始されてから、間もなく3年。「耐えられない」「早く撤回してほしい」という声がいっそう強まっています。2022年3月には、渋谷区のテニスコートに氷塊が落下。人命にかかわる事故も起きかねない状況です。

開始前から住民のみなさんと一緒に中止を求めてきましたが、開始後もずっと、署名運動、行政への要請、反対集会などに取り組んできました。「新宿の空を守る会」のみなさんの粘り強い運動、区内の町会長の過半数の署名、共産党区議団の奮闘もあって、2022年6月には新宿区議会でも、羽田新ルートを固定化しないことを国に求める意見書が採択されました。

一日も早く平穏な住環境を取り戻すよう、撤回させるまで全力をつくします。



撤回求めてパレード(2020年)



キーンという爆音は、 恐怖以外の何ものでもない

自宅マンションの真上を突然飛行機が飛び始め、びっくりしました。国土交通省に何回も苦情を言いましたが、全く誠意のない対応。キーンという爆音は、恐怖以外の何ものでもありません。自費で約70万円かけて窓を二重にしましたが、上から降る音は換気扇から容赦なく入ってきます。とにかく住宅地を飛ばすのは止めてほしい。

伊藤良子(北新宿)

佐藤さんに今度は区政で 取り上げて頑張してほしい

佐藤佳一さんは、2020年の羽田新飛行ルートが運用される前から、騒音や落下物の危険性を指摘して中止をするように運動してきました。実際に飛行を始めて、多くの新宿区民から「騒音がひどすぎる。窓も開けられない」といった声が多数寄せられました。住環境をまもるために、区政でこの問題を取り上げて頑張っていたきたいと思います。

渡邊勇造(新宿の空を守る会)



ご要望を受け、小滝橋通り交差点の歩行者用青信号の延長を警視庁に申し入れ。19秒から22秒に延長されました。

●小滝橋交差点の歩行者用青信号を延長



北新宿4丁目の方から署名をいただき、区の担当課長に提出。「公園のトイレは順次進めている」と回答。北新宿4丁目の大東橋のトイレは洋式になりました。

●大久保駅に続き東中野駅もホームドア設置へ

区議の時、区議会区内全駅にホームドア設置をくり返し要求。大久保駅には2021年11月に設置されました。2022年6月に、国土交通省の担当者に東中野駅の進捗状況を聞きました。「センサーに使う半導体が調達

できれば。来年度中には」との回答でした。

●柏橋の段差解消



乳児を乗せて自転車で行く中に、段差でつまずき転倒し、膝を打ってしまいました。段差が解消され、感謝しています。
K・Nさん(北新宿2丁目)

この願い、直接届けたい 区政に送ってください

- 東中野駅にホームドア設置。同駅東口のバリアフリー化
- 自転車駐輪場の増設、ラック幅を広げ、定期利用の拡大
- 角筈都営住宅跡地を住民の要望に応える有効活用を
- 神宮外苑の樹木伐採は中止し、再開発計画の見直しを

再び
区政へ

区議の時
2期8年

区民の思い第一の論戦で
区政動かす



障害者の家族の方から、「新宿区のスポーツ施設の利用料が高いので、ローリングバレーボール大会を利用料免除の葛飾区まで行ってやっていると聞きました。2014年の区議会でも、23区中19区が福祉的観点や健康維持などのため障害者のプール利用料を減免していることを示して要求。「近隣区と比べて高いのは確か」と認めさせ、「検討」を約束させました。8年かけて、ついに2022年度から無料になりました。

☑学校給食を次々改善

早大生協食堂で調理していた経験を生かし、アレルギー食の事故防止の対策、教職員の研修の充実などを提案。区の対策に生かされました。また、食品衛生の効果などを示して給食室のドライシステム化の促進を提案。2015年までに区立小中学校全校が、ドライシステム化または空調化されました。



床に水を流さず乾いた状態で調理や洗浄をおこなうドライシステム化された給食室

☑巨大マンション建設、設計変更へ

2013年、北新宿1丁目の巨大マンション建設計画に、周辺住民のみなさんの不安が広がりました。区議会で、建設会社が住民に示した駐車場の図面が区に提出した図面と違うことを示して、「企業の社会的責任が問われている」と追及。当時の区長が会社に抗議文書を送り、住民の要望を受け入れた設計変更が実現しました。



学校給食費、子どもの国保料の軽減などを訴えた2018年2月の区議会代表質問

この願い、区政に直接届けたい

(基金残高)
新宿区の貯金656億円
今こそ区民のために

- 小中学校給食費用の無償化
- 若者向け民間賃貸住宅家賃助成の復活
- 若者の奨学金返還支援
- 猫の去勢・不妊手術の助成費用の増額
- 区独自のパートナーシップ・ファミリーシップ制度の実現

新宿区は統一協会関係団体の「後援」取り消せ。自民党は癒着を断ち切るべき。